

若者が住みやすい長岡をつくるための意向調査（40歳対象）結果

1. 調査目的

若者が未来に向かってチャレンジできる環境整備や施策を検討するために、将来の長岡を担う重要な年代である40歳の方の率直な意見や長岡に対する思いを聞くもの

2. 調査概要

(1) 対象

長岡市在住者または、長岡市出身で、昭和51年度生まれの方
(昭和51年4月2日～昭和52年4月1日生まれ)

■参考

昭和51年度生まれ 長岡市内中学卒業人数 4,203人(教育委員会調べ)

アンケート送付時対象者数 3,674人(長岡市住民基本台帳人口)

(2) 回答期間

平成29年3月15日～平成29年4月20日

(3) 調査方法

「大成人式」の案内状送付時に調査票を同封。記入後、郵送回収。

(4) 回収結果

有効回収数 426票

回収率 11.6%

3. 調査結果（概要）

(1) 回答者の基礎情報について

①回答者は、「男性」41%、「女性」59%だった。

②回答者の出身地は、「市内」73.2%、「県内」18.5%、「県外」7.3%、「その他（外国）」0.7%だった。

③回答者の長岡に住んでいる平均年数は29.3年で、40年間住み続けている方が30.8%で一番多かった。

④回答者の職業は、「会社員・公務員・団体職員」が62.2%で一番多く、次いで「パート・アルバイト」が16.4%、「専業主婦・主夫」8.7%、「自営業」7.5%だった。

⑤回答者の家族構成は、「2世代世帯」が38.3%で一番多く、次いで「夫婦世帯」が30%、「3世代世帯」が16.2%になっている。

また、「子供がいる」と回答した人の割合は71.4%で、子供の平均数は1.9人だった。子育てに関する情報の入手先は、「市政だより」23.0%、「幼稚園・保育園・学校」22.7%が多く、ママ友・パパ友が16.1%と続いた。

(2) 長岡市へのUターンについて

回答者における、進学や就職で長岡市を離れたことがある人は 50.6%で、半数以上が一度長岡を離れている。また、長岡に戻ってきた時の平均年齢は 24.5 歳で、21 歳-25 歳の間が 43.5%で一番多かった。「長岡市に戻ってきた理由」で一番多かったのは、「地元での就職のため」が 55.7%で一番多く、進学で一度長岡を離れても、就職で戻ってくる人が多いようである。

(3) 長岡の住環境について

「住み続けるには、長岡はよい環境だと思いますか」という質問に、「そう思う」と答えた人は 35.0%、「そう思わない」が 11.5%、「どちらでもない」が 28.4%だった。「そう思う」と答えた人の理由で多かった答えは、『田舎過ぎず都会過ぎずちょうど良い』『自然が豊か』『新幹線や高速バスの交通の便が良い』『子育てしやすい』だった。「そう思わない」と答えた人の理由で多かった答えは、『雪が多い』『交通の便が悪い』『仕事がない』だった。

(4) 将来について

回答者における、「将来に向けて、不安に感じていること」で一番多かったのは、「お金（貯金）等に関すること」18.9%、次いで、「老後に関すること」18.3%だった。

(5) 地域活動等について

回答者において、「地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したことがある、または参加してみたいと思う」人は、47.7%で、約半数近くの人になんらかの地域活動に意欲的とみられる。また、その動機について、「社会に貢献したい」19.3%、「人脈を広げたい」14.7%、「自己啓発のため」11.1%などがあつた。

(6) 利用している情報サイトについて

回答者において、「長岡市HP」の利用頻度が一番多く、65.4%の方が年に 1 回以上は利用している。それ以外の情報サイト（「子育てナビ」「UI-LIFE ながおか等」）については、「知らない」「知っているが利用したことがない」が 7 割以上を占める。よく利用する情報サイトは、Facebook、twitter、LINE、など SNS を利用している人が多かった。

(7) 起業について

回答者において、「今までに起業を考え、起業をした」方は、全体の 5.0%と少なく、起業をした平均年齢は 30.1 歳だった。「現在起業を考えているが、実現はしていない」「過去に起業を考えたことがある」方は 17.9%で、実現していない（しなかった）理由は、「資金が足りないため」35.6%「ノウハウがないため」34.8%だった。

7割以上の方が、「起業を考えたことはない」と答えている。

(8) 20代の頃にしておけばよかったと思うものについて

回答者において、「資格取得・勉強」が 23.5%で一番多く、次いで「貯金」が 17.0%だった。「その他」で一番多い回答は、「海外旅行」だった。

(9) 30代の頃にしておけばよかったと思うものについて

回答者において、「貯金」が19.5%で一番多く、次いで「資格取得・勉強」が18.1%だった。「その他」で一番多い回答は、「健康づくり」だった。

(10) 20代、30代で新しいことにチャレンジするために必要だったと思うものについて

回答者において、「活動するための貯金」が33.5%で一番多く、次いで「一緒に活動する仲間」が29.4%だった。「その他」で一番多い回答は、「勇気や意志」が35.6%、「時間」28.9%だった。

4. 大成人式へのメッセージ（抜粋）

- 楽しそうなイベントを企画して下さいありがとうございます。長岡を元気にできる事が私達に何かないかと思っています。お手伝いさせて下さい。
- 20歳の成人式に出られなかったので、大成人式が楽しみです。
- 久しぶりに会える友人もたくさんいるので楽しみです。成人式から20年。ひとそれぞれ違う時間を過ごしてきたと思います。いろんな話が出来たら嬉しいです。
- 40歳の今をどう生きているか、たくさんの人と話してみたい。
- 27歳の時に中越地震に遭い、とてもたくさんの物を失いましたが、得たものもたくさんありました。そんな中で無事に40歳を迎えることが出来てとても嬉しく思います。これからはペースはゆっくりになっても、心豊かに人生を歩んでいきたいです。
- 長岡が大好きで一度も離れたことがありません。たくさん要望はあります。でも少しでも、長岡の発展に協力できればなお好きになります。今後も続けていただきたいと思います。
- 新しい仲間とふれあえる機会を大切にして、そこから又、新たな自分と新たな人生の始まりが訪れることに期待します。
- 20年前の成人式は会場まで行きながらも式典に出席せず仲間たちと只おしゃべりして過ごしました。後になって「式典にきちんと出席すればよかったなあ」と思いました。20年ぶりに式典に出席できる機会を得た心境です。新たな門出の式に出席し、これからの歩みに生かしたい気持ちです。
- 長岡は大きく変わった。ハタチの頃に想像できなかったことが沢山ある。合併、中越地震、7.13水害、フェニックス、アオーレ長岡誕生、Bリーグ1部アルビBBのホームタウン化、まだまだ長岡は進化する。次の20年後はどんな長岡になっているか楽しみだ。その時はもう60才。元気で健康な姿でまた会いたい。老後も俺達の長岡で過ごしたい。
- 「40歳」が第二の人生の一歩となりますように。長岡が何歳からでもチャレンジし易い街になればいいなと願っています。